

議案第 1 号から議案第 7 号までの議案 7 件について賛成の立場で討論いたします。

議案第 1 号令和 4 年度野田市一般会計予算は、予算規模が 531 億 7,100 万円となり、令和 3 年度の当初予算との比較では、21 億 9,900 万円の増額と、過去最大の当初予算規模となっております。

この増加要因としては、国及び市の新型コロナウイルス感染症対策費の計上に加え、社会保障費関連が引き続き伸びていることなどによるもので、厳しい財源の中での予算編成をされている状況です。

まず、総務費の多世代交流センター整備事業については、地域コミュニティの核となる施設にするための整備改修を行うものですが、高齢化社会を迎え、同じようなケースでの施設整備が今後増える可能性もあり、この施設整備がモデルケースになるとの考えでの整備とありますので、その点を評価すると共に、完成に向けご尽力いただければと思います。

シティプロモーション事業においては、情報発信のさらなる強化を図るための組織編成を行いながら、地方創生アドバイザー事業助成金を活用して講師を招き、市職員の情報発信力強化を行う取組みを合わせて行う事について評価いたします。引き続き野田市の魅力や野田市のサービスを市内外に発信しながらシティプロモーションを展開して頂ければと思います。

コミュニティバス運行計画基礎調査委託料については、これまでも路線や時刻表などの見直しを実施してきたなかで、新型コロナウイルスの影響もあり、思うような成果があげられてきておりませんでした。高齢化を迎え車社会の野田市において、皆様の足となるコミュニティバスの運用は必要不可欠でございますので、引き続き、デマンドバスの導入を含めご尽力いただければと思います。

民生費の社会福祉関係では、強度行動障害者グループホーム整備が行われる事業費について、市民の方から頂いた寄附金と意向によって実現される状況もあり、改めて感謝すると共に、福祉に充実した野田市として、引き続き街づくりを行って頂ければと思います。

児童福祉関連での、子ども医療費助成については、中学校 3 年生までの自己負担金を通院 1 回入院 1 日あたり 200 円として制度の拡充を行い、近隣市では実施していない、小学校 6 年生までの自己負担金を無料するなど、子育て支援の充実を図るための取組みとして評価いたします。また、18 歳までの拡充についても、今後検討されるとの答弁をいただいておりますので、大きな予算が必要となる事業ですが、導入に向け引き続きご検討お願いいたします。

さらに、最終年度となる子ども館の整備事業費が計上されておりますので、現在ある 6 館の運営と合わせて、多くの利用者に喜んでいただけるサービスを展開していただけるよう、指定管理者との調整を図りながら、子ども館の開園に向

け引き続きご尽力いただければと思います。

衛生費におきましては、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費及び接種対策費が盛り込まれております。この部分については、現在3回目の接種が行われている中で、職務に当たる職員の方々のご尽力により、混乱なく実施できていることに感謝し、体制の構築について評価いたします。また、不妊症・不育症治療費等については、助成についての予算を確保されていることについても改めて評価いたします。

農業水産業費については、継続して新たな農業の担い手を育成するための事業費が盛り込まれておりますが、これまで実施してきた事業の内容を見直し、新規就農の支援だけではなく、農業後継者やブロックローテーションの担い手となる農機オペレーターの育成も事業の対象に拡大し、農業経営や作物の生産工程の研修に重点を置いてきた研修体制についても、農業法人等での就農も見込み農業機械の取り扱いや、農作業オペレーター育成にも取り組む内容になっていることについて評価いたします。

商工費の補助対象を拡大する空き店舗活用事業費については、適用業種を拡充するとともに、家賃限度額の補助を引上げ、中心市街地に限定していた改修費補助についても、市内全域に拡大し、さらに空き店舗に限定していた対象物件に空き家や空事務所等を加えることとしており、空き店舗だけでなく、空き家の解消にもつなげる事業内容になっていることから評価する。

土木費については、引き続き連続立体交差事業である、愛宕駅西口駅前広場の整備や東口駅前広場の整備に加え、野田市駅西土地地区画整理事業及び、都市計画道路中野台中根線整備の進捗を図ると共に、漏水対策費や今上木野崎線等の都市計画道路整備事業についても予算を計上されておりますので、引き続きご尽力いただきながら、野田市のまちづくりの根幹である土台の整備に向けてよろしく願いいたします。

消防費については、女性消防士の採用について評価すると共に、引き続き市民の暮らしの安心安全を図る取組を展開して頂ければと思います。

教育費については、小中学校のトイレ改修工事に係る継続費用が計上されており、洋式化に向け、引き続き整備されている点を評価すると共に、社会教育費では公民館への公衆無線LAN設置に係る経費を新規計上し、施設の利用者や災害時などに活用できるインフラ整備がなされることについて評価いたします。

少子高齢化を迎え、野田市も人口の3人に1人が65歳以上となり、この先も社会保障関連費が伸びていくことと合わせ、厳しい財政運営が迫られております。令和4年度からは収入を増やす取り組みとして、ネーミングライツ事業を展開していく状況ですが、ふるさと納税のさらなる強化や企業誘致、観光業など含めて収入を増やす取組にも引き続きご尽力いただければと思います。

また、議案第2号から第5号までは適正に予算が計上されていると共に、議案第6号令和4年度野田市水道事業会計予算については、新たに水道部お客様センターが移転されます。

これまでの水道料金・下水道使用料等のお支払い、使用開始・中止の手続きに加え、埋設管の調査、給水申込等も行えるなど、利用者にとってより良いサービスが提供できる状況になることを評価いたします。

また、その取り組みをマスコットキャラクターのすいっぴー、みずかちゃん、ロボカンを活用して情報発信のさらなる強化に努めて頂ければと思います。

議案第7号に関しては適正に予算が計上されていることから、議案第1号から議案第7号までの全ての議案に賛成といたします。